

朝の祈り 土曜日

主よ、わたしたちの口を開いてください。

わたしたちは、主の誉れをあらわします。

栄光は、†父と子と聖霊に

初めのように、今も、世々に限りなく

アーメン

主をほめたたえましょう。

詩篇第 95 編

主に向かって喜び歌い / 救いの岩に声をあげよう

感謝に満ちてみ前に進み / 賛美の歌で神をたたえよう

主は偉大な神 / すべての神にまさる王

地の深みは主のみ手に / 山の頂もまた主のもの

海は神のもの、主はこれを造られた / 乾いた地も主は造られた

身を低くして伏し拝み / 造り主、主のみ前にひざまずこう

主はわたしたちの神、わたしたちは神の民 / わたしたちはその牧場の民、そのみ手の羊

栄光は / 父と子と聖霊に

初めのように、今も / 世々に限りなく アーメン

大栄光の歌 ♪

いと高きところには神に栄光、地にはみ心にかなう人びとに平和がありますように。

全能の父、天の王、主なる神よ、主を拝み、主に感謝し、主の栄光をほめたたえます。

父のひとり子、主イエス・キリスト、世の罪を除く神の子羊、主なる神よ、わたしたちに憐れみをお与えください。

父の右に座しておられる主よ、わたしたちの祈りを受け入れてください。

イエス・キリストよ、主のみ聖、主のみ王、主のみ聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに、最も高くおられます アーメン

第一朗読 使徒言行録 16:1-10

(そのころ、)パウロは、デルベにもリストラにも行った。そこに、信者のユダヤ婦人の子で、ギリシア人を父親に持つ、テモテという弟子がいた。彼は、リストラとイコニオンの兄弟の間で評判の良い人であった。パウロは、このテモテと一緒に連れて行きたかったので、その地方に住むユダヤ人の手前、彼に割礼を授けた。父親がギリシア人であることを、皆が知っていたからである。彼らは方々の町を巡回して、エルサレムの使徒と長老たちが決めた規定を守るようにと、人々に伝えた。こうして、教会は信仰を強められ、日ごとに人数が増えていった。

さて、彼らはアジア州で御言葉を語ることを聖霊から禁じられたので、フリギア・ガラテヤ地方を通って行った。ミシア地方の近くまで行き、ビティニア州に入ろうとしたが、イエスの霊がそれを許さなかった。それで、ミシア地方を通ってトロアスに下った。その夜、パウロは幻を見た。その中で一人のマケドニア人が立って、「マケドニア州に渡って来て、わたしたちを助けてください」と言ってパウロに願った。パウロがこの幻を見たとき、わたしたちはすぐにマケドニアへ向けて出発することにした。マケドニア人に福音を告げ知らせるために、神がわたしたちを召されているのだと、確信するに至ったからである。

福音朗読 ヨハネによる福音 15:18-21

(そのとき、イエスは弟子たちに言われた。)

「世があなたがたを憎むなら、あなたがたを憎む前にわたしを憎んでいたことを覚えなさい。あなたがたが世に属していたなら、世はあなたがたを身内として愛したはずである。だが、あなたがたは世に属していない。わたしがあなたがたを世から選び出した。だから、世はあなたがたを憎むのである。『僕は主人にまさりはしない』と、わたしが言った言葉を思い出しなさい。人々がわたしを迫害したのであれば、あなたがたをも迫害するだろう。わたしの言葉を守ったのであれば、あなたがたの言葉をも守るだろう。しかし人々は、わ

たしの名のゆえに、これらのことをみな、あなたがたにするようになる。わたしをお遣わしになった方を知らないからである。」

賛歌 土曜日 贖われた者の賛歌 (黙示録 15:3-4、5:13)

全能者にして主なる神よ / み業は偉大で、驚くべきもの

万民の王よ / あなたの道は正しく、また真実なもの

主よ、だれがみ名をたたえずにおられましょうか / 聖なる方は、あなただけ

すべての国民が来て、み前にひれ伏すでしょう / あなたの審きの正しいことが、現れたから

み座にいます方と子羊とに / 賛美、誉れ、栄光、力が、世々に限りなくありますように

アーメン

使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。

また、その独り子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。

主は聖霊によって宿り、おとめマリヤから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみがえり、天に昇られました。

そして全能の父である神の右に座しておられます。そこから主は生きている人と死んだ人とを審くために来られます。

また、聖霊を信じます。聖なる共同の公会、聖徒の交わり、罪の赦し、体のよみがえり、永遠の命を信じます アーメン

主の祈り

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。み国が来ますように。

みこころが天に行なわれるとおりに地にも行なわれますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。

わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

悪からお救いください。

†国と力と栄光は、限りなくあなたのものです。アーメン

特祷

いつくしみ深い父である神よ、あなたは御子キリストを復活させ、永遠のいのちに至る道を示してくださいました。わたしたちが危機や不安の中を歩むとき、あなたにいつも心を向けることができますように。

聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に行き、支配しておられるみ子、わたしたちの主 † イエス・キリストによって。アーメン

(朝の祈り)

天の父、永遠にいます全能の神よ、今朝までわたしたちを無事に過ごさせてくださったように、今日一日もみ手のうちにお守りください。罪に陥らず、危険にも会わず、絶えず主の導きにより、み心にかなう行いができますように。

(就寝前の祈り)

光のみなもとである神よ、この世の闇を照らし、豊かな憐れみをもって、今夜の危険をことごとく防いでください。心の闇を取り除き、安らかな眠りを授け、新しい日の喜びに目覚めさせてください。

以下の祈りはそれぞれの必要に応じて用い、祝祷でおえる。

逝去者のため

死者の名前をあげたのちに祈りを始める。

〔I〕 未洗礼者 〔II〕 信者を適切に用い、最後に〔共通〕でおえる。

〔I〕 洗礼によってみ子イエス・キリストの死とよみがえりにあずかる機会を得ることなくこの世を去った人たちを顧みてください。どうか主の深い慈しみと恵みの内に彼らを守り、主の全きみ旨を成し遂げてくださいますように。

〔II〕 世にある人、世を去った人の主なる神よ、あなたは、主にあつて死ぬ人は幸いである、と教えられました。どうか主を信じて世を去り、安らかな眠りに就いた僕に豊かな祝

福を与え、主が彼らのうちに始められた救いのみ業を、イエス・キリストの日に成就してください。

〔共通〕 天の父よ、今なお世にあって主に仕えるわたしたちにも恵みを与え、ついに彼らとともにみ国の世継ぎとしてください。

病人のため () の中に名前を入れる

天の父よ、病のうちにある主の僕 () のために捧げる祈りをお聞きください。どうかこの僕を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病に打ち勝たせてください。また医師と看護するものを助け導き、その業を全うすることができるようにしてください。

感謝

慈悲深い神よ、あなたはこの僕に特別な恵みを現してくださいました。どうかともにこの恵みを深く感謝し、常に喜んで主に使え、み名の栄光を現すことができますように。

祝福のため (祈りの対象者の名前を呼んでから祈る)

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし／あなたに恵みを与えられるように。主が御顔をあなたに向けて／あなたに平安を賜るように。

日々の祈りはこの祝祷でおえる

祝祷

†主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、わたしたちとともにありますように。アーメン